

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市西区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	88.9%
達成率	104.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,321	18,206	4,115

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,582,000	17,382,000	200,000	－
	計画	17,382,000	17,382,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,750	0	2,750	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,584,750	17,382,000	202,750	－
	計画	17,382,000	17,382,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,139,429	14,267,201	39,429	－
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	3,426,999	2,381,411	144,999	－
	計画	3,282,000	3,282,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,566,428	16,648,612	184,428	－
	計画	17,382,000	17,382,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	104.3%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電および裏面再利用による経費節減。	B	節電・節水やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設の連携して防火・防災避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により中止されていた、食品メーカーによる人気講座や市内の福祉財団による出前講座を再開するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・高齢者施設などの社会福祉施設で構成されている、社会福祉施設連絡会に参画し、各施設との相互連携を行うとともに地域の関係団体と連携を強化する目的で、施設運営委員会に参加することにより地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・プライバシーポリシーを策定し、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、裏面再利用や節電・節水など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
（2）回答者190人（未記入者含む）
（3）質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
（4）結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が88.9%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.センターだよりの文字のバランスや余白の使い方をもう少し工夫していただきたい。
2.PDCAの「A（改善）」の部分は「検討する」ではなく、次年度に向けた改善策を記載していただきたい。Dの実施内容は客観的事実と参加実数報告、Cで前年対比など成果を評価分析し課題を見つけ、Aは課題をクリア改善して次年度へつなぐ内容を記入していただきたい。
3.全体的にしっかりと運営されている点や、地域性をしっかりと踏まえて、社協と連携している点も評価できる。
4.センター利用者の相談対応や地域と連携して取り組んでいる点は評価できるので、事業報告書にもしっかりと記載していただきたい。
5.Instagramを利用されているが、LINEのほうがより利便性が高いものと思われる。センター利用者を増やすために、LINE等のSNSの活用を検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染症が5類に以降したのち、利用促進策を段階的に進め利用者の回復に繋がるよう活動し、概ね事業計画に沿った取り組みを達成した。
市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況	B	高齢者のフレイル、認知症予防など健康増進や生きがいがいづくり、社会参加につながる事業を実施、子育て世代が多い区の特性に沿った幅広い層と世代間交流ができるよう事業を行った。 スマホ教室やACP（人生会議）や遺贈講座では区役所と連携して実施した。 関係団体と連携し高齢者のニーズ把握に努め、また社会福祉施設などと課題となりうる情報交換をするなど地域の関係団体と連携を行っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	本市が期待する管理運営を行った。
総合評価		